

# 北近畿地域連携会議 研究テーマの選定について

## 1 テーマ選定の基本方針

- ①地域社会の安心安全の確保と地域経済の活性化に実現に結びつく研究を対象とする。
- ②多様な主体が関わる地域社会の重要な課題を優先する。
- ③専門家と地域のさまざまな機関・団体等が相互に貢献可能な調査・研究であること
- ④概ね2か年以内での提言のとりまとめ、および1年以内の中間報告のとりまとめを基本とする。
- ⑤ただし緊急的な対応が求められる事案については、幹事会の決定によりテーマの修正・変更を可能とする。

## 2 平成29年度の研究会テーマ（事務局案）

- ①『高齢者の運転免許返納による社会的影響を改善するための、地域社会の新たなシステム構築と、その持続可能性にかかる社会経済モデル』

平成29年度 高齢者の運転免許証返納者を支援する交通・社会システムの構築

平成30年度 自動運転の急転換を見据えた、ウーバー、カーシェアリング

等を含む新たな地域交通システム構築の方向性

- ②『住みたいまち・行きたいまち・働きたいまち、の創生に向けた新たな挑戦』

（定住人口と交流人口の維持・拡大への具体策）

本テーマについては2分科会による研究を検討する

- 第1分科会：若者の北近畿地域への定着に向けた新たなアプローチ

平成29年度 ①I・U・Jターン等、地域の課題にチャレンジする若者の発掘・生活実態把握・および支援策

②京阪神等都市部在住の学生・若者の意識と生活実態の把握

平成30年度 ①地域の課題に挑戦する若者を輩出する人材育成の仕組み

- 第2分科会：北近畿を面的に周遊する観光への挑戦

平成29年度 現状の各種取組の情報整理とデータの収集及び分析を踏まえ、新たな観光モデルの創出に向けた課題の提起

平成30年度 インバウンドを視野に入れた、観光素材・観光人材・社会環境等の整備への政策提言

(参考)

## 北近畿地域連携会議で扱う当面の活動テーマの例

(平成 28 年 11 月事務局作成)

### 1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

- ① 北近畿地域経済分析と地域経済活性化に向けた施策提案
- ② 地場産業・公共交通機関・大学・金融機関及び行政等が連携した新たな地域ブランド・地域特産品の開発
- ③ 学生が地域で活躍できるインターンシップ・実践学習活動の場の提供とその活用
- ④ 大学教育への地域人材（農林業、商工業、行政、NPO等）の参加システム
- ⑤ 地域循環型経済を促進する環境型・地域連携型投資対象の育成
- ⑥ 民間が求める大学教育科目等を実現するための冠講座等の提案

### 2. 地方への新しい人の流れをつくる

- ① 着地型観光の振興に関する施策提案
- ② 若者が地域に回帰する動機を提供する小中高大等と地域との教育連携
- ③ 中小企業や地場産業の担い手と大学生が直接交流や共同作業を通じて地域回帰が促進される大学—地域連携システムの構築

### 3. 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ① 公共施設の統廃合に伴う民間活用に関する提言の策定（6次産業化等含む）
- ② 高齢者（特に認知症に伴う運転免許失効など）のための地域公共システムのあり方
- ③ 小規模多機能自治組織による生活環境・経済活動の保全
- ④ 成年後見人の育成と地域における活用